

## 職員による自己評価

## A環境面

活動と目的に合わせてスペースを設定し、落ち着いた環境で取り組めるように配慮しています。

## B児童への支援内容

毎月、ミーティング・研修会の中で問題やその為の改善策を話し合い、その対策方法で子どもに対応してみる。スタッフ全員で共通理解同じやり方をする事で混乱を防げる。

## C関係機関との連携

学校からのメール、月のお便りで下校時刻、学校行事の情報共有を行っている。

## D保護者への説明責任・信頼関係

どんぐりん通信で毎月のお知らせ、報告、スタッフ紹介、プログラムなど掲載したものをお渡しします。利用時の連絡帳で子どもの様子や活動内容を伝えています。

## E非常対応

年 2 回避難訓練、防災のお勉強

活動の一環として防災センターに行きました。

「どんぐりん非常災害時の対応について」改訂版を親御さんへ配布。

## 保護者による評価

## A環境面

・道路に面してなく外に出ても危なくない。周りの環境がいい。

## B児童への支援内容

・毎回どんぐりんへ行くことを楽しみにしています。

・安心してお任せできる。

・毎回送迎時に詳しく伝えて頂き、解決案を出して頂いたり、褒めて頂いたりしています。

・個別支援計画の作成を子どもの状態をみて作成されてとても満足しています。

・ホームページができるのを楽しみにしています。

## C事業所からの情報発信

どんぐりん通信を見て喜んで行きます。

どんぐりん通信で予定がわかるので、子どもが楽しみにしています。

## D非常対応

避難訓練実施 2 回、災害時の緊急連絡先を改めて記入。(非常対策全員はいに○がありました)

## 事業所内での分析

## 【共通点】

どんぐりん通信の情報交換ツールは子供たちの先の見通しがたつことで、親子共に安心できる。

日々の活動内容や様子を連絡帳に記録し親御さんと情報共有をしています。

写真や動画、絵カードを取り入れ意志の疎通や情報伝達をしている。

## 【相違点】

昨年度に引き続き同じ意見が多い、どんぐりんでの保護者会は必要ないと思います。やらなくていいと思っている親御さんが多い。

分析・検討してみても…

### 事業所の強み

- ・個別療育、週ごとにプログラムを実施して子ども達が楽しめるような企画を立案実施している。(運動・製作・ことば学習・音楽など)
- ・毎月のミーティング、研修会で子供たちの振り返り、問題点、対策、具体的に改善策を話し合い共通理解し共有したことを日々の活動に反映している。
- ・昨年オムツトレーニングしていたが、毎回成功できている。など成功できていることが多々あり、訓練の繰り返しを大切にしている。

### 事業所の改善点

- ・庭の飛び石(歩く為のおしゃれ石)が元々家の庭に植えこんでレイアウトしており、フラットにする。
- ・非常災害用飲料水や保存食備蓄

### 事業所の改善への取り組み

- ・毎日、朝の朝礼で子どもの人数、親御さんからの連絡事項、体調変化、お休みの理由、送迎の配置等を申し送りし、今日の活動の流れを伝えて、全員が把握し活動に入る。
- ・2階建てなので必ず声掛けを心掛けて、子ども達から目が離れないようにしています。年に数回ある横浜市主催の研修に参加し、報告書を作成スタッフへ反映させています。
- ・毎日の子ども達一人一人の様子で変わったこと、出来たこと、など、気が付いたことを個々のストレンクスファイルに記入しています。児童発達支援管理責任者の個別支援計画に役立つ資料に役立てる目的があります。

### ～自己評価を行っての事業所としての感想など～

毎日の申し送り(朝礼)や毎月のミーティング・研修会、日々の役割分担、注意事項などを共通理解することで事故防止に努めていきます。必要に応じて家庭、学校、区役所こども家庭支援課ケースワーカー、神奈川区基幹相談支援センターと連携を取り対応をしていきます。

学校や大きな施設は保護者がつながる場として(役員活動含め)保護者会は必要だと思う保護者は多いが、どんぐりんのような小さい施設での保護者を望まない親が多いと改めて思った。個別で面談を密に行っている事で満足してもらえていると感じています。

事業所名 放課後等デイサービスどんぐりん

担当者 管理者 新井裕子